

陳述書

2016年12月2日

私の名前は・・・で、同志社大学大学院ビジネス研究科の元院生で、現在は京都大学の博士課程の院生です。私は2011年12月に、メキシコ市の日本大使館経由で文部科学省の奨学金を受けました。文部科学省奨学金応募の一環として、また能力と広範な学識を有する教授の指導を仰げるようにと、私の将来の研究についてのアドバイス指導を要望していました。2012年1月に、同志社大学は、マクロ経済分析や環境モデリングの国内外に於ける第一人者である山口薫教授を紹介してくれました。そして私は彼と連絡を取りました。

2012年の1月に、同志社大学から（電子メール及び郵便にて）、山口教授が2012年の9月から2014年の3月まで私の研究アドバイザー（指導教授）となることを確認し同意した旨の連絡を受けました（添付資料参照）。加えて、日本語予備教育期間中（2012年4月から同年9月まで）に同教授に数回お会いし、10月からのグローバルMBAプログラムへの入学準備をしながらマクロ経済分析に関する指導を個人的に受けました。同教授はまた学習すべき参考文献も紹介してくれました。

グローバルMBAプログラム初年度の秋学期に、私は山口教授の入門「システムダイナミックス(System Dynamics)」のコースを、2012年の10月から12月にかけて受講しました。システム思考の方法論やシステムダイナミックスのモデリング手法を、ベンシムのフリーソフトを使用しながら広範囲にわたって学びました。私は次第に、会計やビジネス戦略にシステムダイナミックスがどう利用されるのかが明瞭に理解できるようになりました。私は与えられた課題を全てこなし、同教授の提案に従い、文献も読み熟しました。そして、A+という最優秀の成績が得られたのに大変満足しました。

私は研究を続行するために2013年の春学期は、山口教授のシステムダイナミックスを部分的に取り入れた「ビジネス経済学(Business Economics)」のクラスを受講するのを楽しみにしていました。何故ならば、同講義科目はすでにアナウンスされており、ビジネス研究科の履修科目要綱に印刷されていたからです。しかしながら残念なことに、2013年3月に山口教授が突如解雇されたために、同科目が受講できなくなりました。予告された同教授のクラスが予期せず中止になったことに、私は非常に驚かされ、そして愕然とさせられました。中止の結果、私たちは外部の嘱託講師によるクラスの受講を余儀なくされましたが、履修科目要綱でアナウンスされた内容は全く講義されませんでした。

このことは非常に失望的なことで、私の研究計画を中断させました。加えて、2年度には私の演習研究を山口教授に監修・指導させると申し出てくれた同志社大学の約束が守られなかったことに、私は動揺させられました。私はまた、申請した研究計画を支援してくれた日本大使館（政府）・文部科学省をも同志社大学は裏切ったのだと思いました。私が誠実に願ったのは、同志社大学が留学生と交わしたアカデミックな約束事は、どんな理由があろうとも遵守すべきであったということです。

山口教授とは、私は常に議論を行い、今後の研究展望について話し合いました。何故ならば同教授の指導のもとでTIM（技術・革新的経営）の博士課程で継続して研究が続けることを期待していたからです。指導分野は、メキシコの中央銀行やメキシコの金融政策報告書から得られる情報を用いて、メキシコのマクロ経済モデルを構築するというものです。私は一貫して、会計システムダイナミックスの手法による山口教授のマクロ経済モデリングを高く評価しており、同教授の正確な学識は同志社ビジネススクールではベストであると評価していました。このことが、他大学ではなく同志社大学に私が応募した主要な理由でした。前述したように、山口教授はシステムダイナミックスの研究分野では世界的な第一人者の教授なのです。

彼がいなくなってから私は数ヶ月間、指導教授のいない状態で置き去りにされました。こうした予期しない状況の結果、私はMBAの研究テーマを、当初の計画とは異なるものに変更せざるを得なくなりました。私は同志社大学で博士号を取得するのを断念する決意をし、現在在籍中の京都大学にある、異なった博士課程プログラムをなんとかして見つけました。しかしながら、このプログラムはシステムダイナミックスに関するものではありません。京都大学に於いてすら山口教授のような専門家を見出すことは出来ませんでした。私にとって山口教授のような世界クラスの学者が同志社大学を解雇されたのは、本当に衝撃的でした。

こうした意味において、同教授の名誉のために陳述するのは、私の意志でありまた責務であります。私は心の底から、将来の文部科学省の国際留学生が、私が被ったのと同様な状態で苦しまないように希望する次第です。何故ならば、そのようなことになれば、日本できちんとした研究準備をする際に非常に多くのトラブルと困難を外国人大学院生にもたらずからです。

.....

京都市左京区.....

(訳：弁護士 辰巳 裕規)